

低学年『自然いっぱい!母子大好き!』

○はじめに

生活科では、「他者、社会、自然、環境とともに生きているという実感や達成感」が味わえます。ふるさと母子の自然や人々との出会いを通じた体験での気づきを絵や文で表しながら学習をすすめていきます。

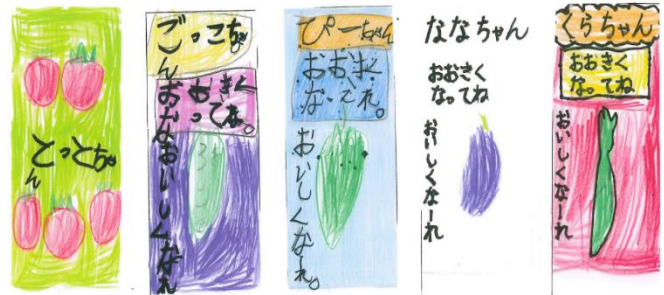
○花のじゅうたん見学!

令和7年度は、4月25日に花のじゅうたんを見学しました。満開の芝桜に子どもたちは大興奮。「きれい!」「いっぱいお花がある!」と入るなり、口々に感想を言っていました。見つけたお花のスケッチをしたり、動物やキャラクターの置物を探したりしながら、楽しんで見学しました。



○夏野菜を育てたよ!!

5月下旬頃には、野菜の苗を植えました。どんな野菜があるかを考え、その中から夏に収穫できる野菜を選びました。野菜に名前を付けて、大切に育てました。暑さ続きで、収穫できるのか心配でしたが、毎日の水やりや草ひきなどをして、きゅうり・トマト・ピーマン・オクラ・なすびを無事に収穫することができました。そして、その野菜で『夏野菜ピザ』を作り、全校生に食べてもらいました。



○さつまいもクッキング!!!

学校の畑でみんなで育てたさつまいもを使って、さつまいも料理に挑戦しました。

<やきいもパーティー>

今年も今北すず子さんにお世話になり、やきいもを作りました。パーティーでは、さつまいもを使った料理の名前、収穫した日、収穫できた重さなどをクイズにして出題しました。

ほかほかのやきいもをみんなで食べて、心もほかほかのパーティーになりました。



<さつまいもまんじゅうづくり>



さつまいもを使ってほかにクッキングをしたいということで、さつまいもまんじゅうを作りました。茹でたさつまいもをつぶして、ラップを使ってくるくと丸めました。

「さつまいもしか使っていないのに、あまい!」とさつまいも本来の甘さを味わっていました。

<干し芋づくり>

さらに残ったさつまいもで、干し芋を作りました。蒸したさつまいもの皮をむいて、細く切り、ざるに並べていきます。1週間ほど干すと、さつまいもの色が変わっていました。干す前と比べてみると、食感も甘さも変化していました。



〇お花のことをインタビューしよう

3学期には、母子の花のことや、どうすれば暑い夏にも花を育てられるかなどを聞いてみようということで、今北すずこさんに来ていただき、インタビューをしました。

- ① どんな花を育てているのか。
- ② 何本くらいの花を育てているのか。
- ③ 育てた花はどうしているのか。
- ④ 育てている花は、いつ頃植えて、いつ頃咲くのか。
- ⑤ 花を育てる時に、気を付けていることは何か。
- ⑥ 夏の暑い時に、花を育てるには、どんなことに気をつければよいか。



という6つのおたずねをしました。写真を見せてもらいながら、メモを取って話を聞きました。

すずこさんのお話から、ユリやリンドウを育てて出荷していること、昔の母子地区で女性が働くことができる仕事として花の栽培が始まったこと、出荷する日がずれるように、球根を植える日をずらしていること、球根を植える時にはまっすぐ植えないと、花がまっすぐ育たないこと、暑い時には、日陰ネットをしたり、水やりをする時間を調整したりしていることなどがわかりました。

次に花を植える時には日陰ネットを活用するなどして、暑さ対策をして育てることが大切だとわかりました。

〇おわりに

低学年は、母子での自然の恵みにスポットを当て、栽培したり、調理をしたりすることで、たくさんの発見をすることができます。母子の温かい地域の皆様にもご協力いただき、学習をすることが子どもたちの力につながっています。